

神戸のこと

淀川長治
え・中・西・勝

商売がら毎日一本は映画を見ている私も、暮れもぎりぎりの、大晦日から明けて五日の松の内までは、映画からさらり離れて……と云いたいのが、実はこれがやっぱり映画のインスタントそうでも申したいテレビにくらいつき紅白歌合戦などにひざのりだしているのだから、いまにあのチラチラチカチカで目がつぶれてしまうかもしれない。

さて、私のジャリのころのお正月というものは、もちろんテレビなどあるわけもなく、大晦日ともなると検番ちかい①（まるイ）の車屋から人力車のお若いのが四人五人と、それが何杯も井戸水運んで、外もうちらもきれいに掃除がゆきとき、夜なかのうちに定紋つきの紺のまん幕を家の表に張りめぐらし、しめ飾りが部屋々々の欄間にさがり、家の表の門松にいたっては両側から軒の上かけ、四角いアーチの松のトンネルさながらに、その中央には色鮮やかな橙（だいだい）一個。門松、まん幕、それで大きな雨戸がガシンと閉つて、たださえ暗い家これでもう手さぐり気分。

×

家に風呂があるというのに、大晦日にはわざわざ「やなぎ湯」に馳けこんで、いつもならもうとつくにしまい風呂の夜なかの二時が人で人でたてこんで「オメデトーハン」の笑顔がいっぱい。女湯の騒がしさと男湯の騒がしさが高い青ベンキの天井でひとつにはね返るそののぼせかた、その年越し気分のみそか錢湯の面白さ。湯ぶねのまわりの化粧スタイルもいまどちがつて一枚一枚が大きく四角で、白地にあいのその西洋からくさ模様のスペインがわらがまた懐しい。大晦日でやけに沸か



してあぶらせて、それで湯ふねの中から「えらい熱いでエーツ」番台めがけ背のびして大声で呼んでポンポンボーンと手を叩く。すると番台はその手

の音で紐をグーイと番台に坐つたままで片手のばして曳きたぐる。その紐は男湯のが一本、女湯のが一本。女湯のポンポンボーンで女湯の紐を曳く。その紐は長く奥の釜たき部屋まで電線まがいに結ばれて、そのグーイと同時に湯ふねの一方から真水がザーッと流れ出るその仕掛けの嬉しさよ。

×

元旦は家じゅうみんな揃つて、芸者しゅうは紋つきの裾なが。広間にすらり居並び、いつせい声をあわせて「あけまして……へい……おめでとうさん」。この十五人十六人と声揃えての「あけまして……へい……おめでとうさん」で正月の楽しさはこみあげる。

男は朱塗り女は黒塗り、その膳がめいひひとりひとりの前に、まるで芝居の舞台そのままにずらりと派手に据えられて、男は金の、女は銀の、膳は定紋づき、男は九枚笪、女は桔梗の、その紋は椀にも小さくそえられて、その黒っぽいほどの深い朱塗り椀のふたると中は白味噌の餅雑煮。その朱塗りの椀からハツと目にしむ味噌と餅のその白さ。

やがて朝も六時をすぎると、パツと電燈が消える、それで広間四隅の黒ぬり足なが燭台ランプに灯を入れる。大きな手まりそのままの、上半分透きとおり下半分くもりガラスの、そのランプの光が浮いてきらめき、いよいよ正月は本格化。あのころ、紅ざらから唇に移した芸者の口紅が、ランプの灯影で玉虫に光り、その口のおちょぼぐちし

て口紅よござぬ心意氣で餅を口によせるそのときの唇の奥から覗く歯のかわいらしさ。

×

正月二日は、とろろ汁に青海苔ぶりかけ、その青海苔の浅い緑がまるでとろろの上にみどりの血をにじませたその妖しい美しさ。それよりもこの日は、書き初めという世にもつらいものが待ちかまえ、墨をする、筆を揃える、大きな和紙を、緋もうせんの上に二つならべて、羽織はかまで先生を待つ。

毎年この日、習字の先生が、これも羽織はかまでも、それにお髭が似合つて、仁丹のマーク、この先生を、チヨーホーカイケンとあだ名も筆の名からとつた二中の有名な習字のその先生が……お見えになると、さてあらたまつた挨拶のそのあとで、父なる親父のまん前でひごろの腕のほどを見せねばならぬその苦しさ。

筆を片手に高々と、エイツと下ろして一字一かくひくごとに、ウン、ウーツ、エイツと腹からしほるその声に、親父は感心、先生ごきげん。出来上つたはみみずの行列、黒蛇の運動会。それでも父は「ほほう、ようできた」先生は「手すじはおよろしい」。そのそらぞらしさ。それも道理、そのあと二人差し向いの二の膳、三の膳の、そのさしつさされつが実は毎年この日のほんとのお二人の目的。やがて先生、上きげんで御帰りのそのころは、こっちはとっくに抜けだし、新聞地のニコニコ大会のその活動写真を二館三館と夢中で見て廻る映画ばしごの真最中。かくて正月からも楽しく嬉しくて、しかもフトコロはまた小使いがいつけばいで。

ダラスの思い出

阪本勝

一九五七年十一月七日から十二日まで、私はテキサス州ダラスで過ごした。二ヶ月にわたるあわただしいアメリカ旅行の途次、ダラスに六日間も滞在して貴重な時間を費やしたこととは、決して望ましいスケジュールではなかつたが、いろいろの都合でそういうことになつてしまつたのだ。そのかわりその数日間、私は市内の各所を見てまわり多くの人々に会い、テキサス大平原のなかにボツンとできあがつたこの異様な都会の風物を満喫した。この町でケネディ大統領が暗殺されたと知つたとき、私の脳裏には過ぐる日の思い出がまざまざと蘇つてきた。

地図を開けばすぐわかるように、テキサス州はアメリカ最大の州で、面積は日本の約二倍もあるそれでいて人口僅か八百万余の茫々たる大平原である。その東北隅に近いところに、ダラス市がある。新聞に報じられたところによると、人口は二十五万ともい、三十万ともいいまちまちで、正確なことはわからないが、いずれにせよ、何の変てつもない平原の都会だ。町全体はひろびると設計されていて、十一月の眺めは荒涼たるものであつた。雨に閉じこめられた日はひどく淋しく、しきりに郷愁をおぼえた。

北海道のサッポロや旭川を思わせるような広い通りがあちこちにあつたが、ケネディが暗殺され

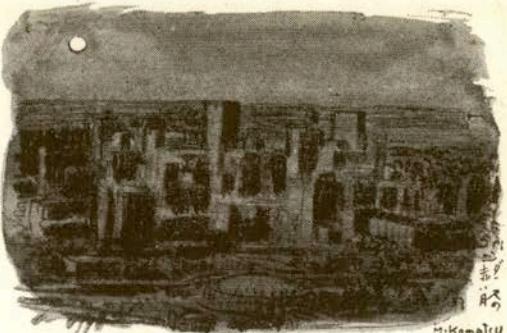
たのはどの通りなんだろう、などと考えたりする。ともかく私があてもなく歩きまわつた幾多の大通りのうちのどこかで悲劇が起つたのだ。深い感慨をおぼえざるを得ない。

紀行日誌によると「ダラスは新興都市で綿の集散地だが、他面宗教的ムード強く、文化の中心地でもある」と記されている。またつぎのようない節もある。「しかし半面政争激しく、かつ露骨である」

政争の激しさをどこで私は感じとつたか。それはつぎのような事情による。十一月十日、私はウイリアム・エイキン夫妻に昼食に招かれた。エイキン夫人はこの地方の民主党の全国代表で、共和党に対する毒舌を吐き続けた。前の月の十月にはソ連の人工衛星第一号「スプートニーケーク」が飛んで全アメリカ人が敗北感と反ソ的感情に興奮した直後だつたので、アイゼンハウワー大統領にむかついていたかの女は、この政敵を罵倒し、スパートニーケークをもじつて「かれはブープニーケーク(Popnik)だ」とこきおろした。ブープはアメリカの俗語で、バカヤロウ、マヌケという意味だ。私はあっけにとられてかの女の毒舌をきいていた。だいたいダラスは共和党ムードの強いところだから民主党幹部のかの女はムカツキ続けたのだ。

ありません。ガバナー・サカモト、お国ではどうですか」

私は日本の実情を説明した。かれは深刻な顔をしてきいていた。



今一つ記しておきたいことがある。八日夜郊外にあるマルゴ・ジョーンズ劇場にいた。円形の異様な小劇場である。出し物は「ダブリンより来た悪魔」。芝居が終つてから支配人兼演出家のラムゼイ・バー・チ氏と話した。私はそこに築地小劇場勃興のころを思わせる若々しい青年たちの演劇的情熱を見た。

それやこれやを思いあわせてみると、ケネディ大統領は、文化、宗教、政争、野蛮、殺伐のカクテルのなかに身を乗り入れ、捨てずともいい命を捨てたのだ。テキサスはもとメキシコに属していた。ワシントンの脈膊が正しくいわばまだ通うまでにはまだ長い年月を必要とするであろう『異国』なのだ。かえすがえすも軽卒なことをしたものだと思えてならない。

思い出深いダラスよ。旅日記をまた繰つてみると、

十一月七日（木）秋雨晴し。夜に入りて満月皓々として宙天にかかる。深夜眠りをなさず。

十一月八日（金）十六夜の月悲し。テキサスの月色血の如し。

十一月十日（日）ロバート・ボニフィールド邸に招かる。少女アレキサンダーの可愛らしさよ。

一九六四年が、アメリカにとつても、日本にとつても、平和で、明るく、良識豊かな年であることをいのる。

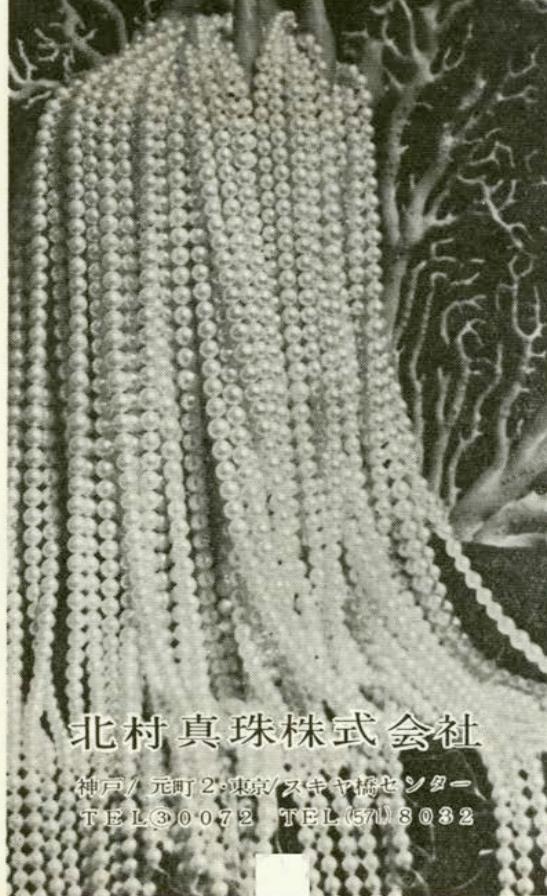
（隨筆家）

カット・小松益喜



KITAMURA PEARLS

世界の人々に愛される
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸/元町2・東京/スカイ橋センター
TEL(3)0072 TEL(57)8082

|
21
|

ROLEX

ローレックス
の時代です



特約店



美田時計店

神戸市生田区元町三丁目
TEL 三宮 (3) 1798

あけまして
おめでとう
ございます
'64



新年御菓子・勅題 / 紙

古い老舗に新しい味覚

新年菓1組 ￥65.
進物函 ￥700～￥2250

神戸  鳳月堂

元町3丁目 TEL③ 695・696

新謹
年賀



O-SHIBATA
柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 4-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

新春放談

神戸つ子

砂野 仁

川崎重工業KK社長
兵庫県経営者協会会長

石野 成明

石野証券KK社長
神戸青年会議所理事長

砂野 先日、日銀から依頼されて“あなたの経営に対する信念”と言うか、経営の哲学を話して欲しいと言はれて、日本の重工業を代表して山際総裁にお話したのだが、いま、私の胸中に去来している重大問題と言えば、日本の労使関係が将来どうなるであろうかと言うことなんだ。

私は会社生活40年になるのだがその大半を労働問題と取組んで来たんだ。人間問題だな、これが私の頭を離れないんだ。戦後の労使の関係を見てみると、日本の労働組合と言うのは、占領軍の政策で月たらずで生れた、發

写真は砂野川重社長



育不全の子供なんだ。それが、自由化による競争激化の

なかにあって、好き勝手な要求をする、会社の経営がどちらを向いていようと欲しいと思うだけのものを要求する。そう言うことで、ここ20年近く経ている、現在はそれでいいとして将来はこれでは、いけないと見ている。

労使問題は分配の問題なんだ。その解決は、売上高から労働によって価値の増さない一切の費用を引いた、分配をし得る根元となる附加価値を「労働裁判所」というものと設けて、そこで分配を決定せよと言う訳なんだ。例えば、全米（アメリカ）の全生産業の附加価値の分配は過去、50年、四分六なんだ。六分を企業に残して、四分を分配するその変差は一・六六と言う数字が出て、戦争中をとおしそんなものなんだ。

経営が発展して行くためには、そう言つたルールが必要なんだよ。その分配について労使、学識経験者、政府当局などで詰合って裁判所で判決をくだすまでは、労働争議をするべきでない。おたがいに産業の成長をとめるようなことをしてはいけないと言うような考え方にならなくてはいけないと思う。とにかく、現在のよう不安定な労使関係では、到底日本産業の発展はのぞめないと言つう事。

それに、日銀の指導方針であり、世銀方式とも言つてゐる、自己資本と他人資本を半分づつにせよと言うのがそれには条件がある。現在、金を借りれば歩積をいれても一割で済む、ところが増資をしてその金を使えば二割儲けなければならない、現在の税制だとそうなる。そう言うことをそのままにしておいて、自己資本を増やせといつても、そんなもの増えやあしませんよ。それなれば、増資して、それが設備資金に投入された場合、減免税を考えよと言つたんだ。最後にね、株式の配当についても、日本の重工業の配当は一割が最も適当な数字だ、若しそれ以上余力があるなれば、内部の体質改善に廻すべきだ」と説いてゐるのだが、総裁はどう思はれですかと言つたんだ。山際総裁もそのとおりだ、参考にな

つたと喜んでおられたようですがネ……。

私はいつも、若い人に国の将来を賭けるべきだと思う議会政治では一番古い英國の、その保守党の代議士の平均年令が41か42才だヨ労働党が43才。日本の自民党的代議士の平均年令は60才、こんなことでは駄目だよ。

ケネディ大統領は47才で亡くなつた。キューバに革命をおこした、カストロが30代、韓国でも朴大統領が47才だが、あとは殆んど30代、日本でも明治維新をもたらした志士達は20・30代の青年だった。そんな、青年こそ國家を動かし得るのだ。青年よ自覚せよといつたい。

ある哲学者がね、ローマ帝国の興亡について「青年の意気旺んにして國興り、青年の意氣、衰えて、國滅ぶ」と言う名言をのこしている。ことは青年なんだ青年の力なり高い理想をしっかりと打立て、国家の進展を押し進める時のみ、国は発展します。年寄りが出てきていろいろ言つてゐるうちは駄目です」

石野 「今日は、最初から砂野社長にハッパをかけられたようなかたちになりましたが、私の思いますのは最近我々の年代層の中では、左顧右眄し、要領よく世の中を渡ろうと言う人が増えているのではないかと思ひます。

砂野社長のような素直な、きつぱりとした意見が出なひんです。ですから、青年は青年らしくやることが本質であると思ひますので、今年一年間、神戸青年会議所のメンバーが青年らしい気持を失はないように、素直、大胆に意見を出し、実行するよう進めることが必要だと思つています。例えば、神戸市の問題にしても、兵庫県の問題、或は日本の国家の問題、思想的な問題また、先程、お話をありました労働問題にしても、大胆な意見をどんどん打出して行きたいと思つています。

ただ、意見を出したとき、「あいつは若い癖にべら棒なこと言う」と袋ただきにされたのでは適いませんので先輩にお願いしたいのは、我々が間違つたことをしたときは教え、叱つていただきたいし、良い場合は「よくやつた、頑張れ」と声援していただくようなり方をお願

たいしのです。ことしは大胆に問題に取組んで若いエネ

ルギーを結集して努力したいと考えていますが、それに

は、先輩方の、経験と円熟した思慮でカバーして載きた

いと思います。なんと言つても我々の仕事はむき出しに

なるし、どちらかと言うとブルドーザーで削るような仕事になりますので、最終的には、先輩方にかためていた

だいて、と思います」

砂野 「それでいいんですヨ。こう言えば先輩がどう思

うだろうか、世間はどういうだろうかと言うことは考え

ないで、自分の本当に考えていることで充分なんだナ。

私はむしろ、青年は気魄をもつて左顧右眄しないで、

青年らしく堂々とやって見よ。若い時は失敗するのが当

り前なんだ、失敗して、たたかれそして、成長するの

だ、何んにもたたかれないと、室咲きの花は駄目だよ。本

物にならないね」

健闘にも、投資しよう

砂野 「私はいつも人から、意見が若いと言はれるんだ

熱情と愛情で人を動かす

石野 私自身で考えている神戸青年会議所の基本構想は、昨年経済四団体として経済団体に参加しましたが、青年会議所としましては、四分一の責任だけでは、青年会議所としては物足りない、すくなくとも四分一以上の責任を果したい、その為に青年会議所は、若さと英智と情熱を傾倒したいと考えています。もう一つの問題の方

向なんですが、青年会議所の活動には3つの柱があつて(1)フレンドシップ (2)トレーニング (3)サービスとなつていまして、この3つのバックボーンは元来、ばらばらであるべきものでないんだと言うことで、この3つの柱が渾然一体になつたところに、青年会議所の面目があると思います。例えば、青年会議所に社会奉仕委員会といふのがおかれていますが、この委員会の活動にしても、

が、ただ、考え方若いいのではないんだナ、私はことし65才、いまが一番健康なんだ。お見かけのとおりだ。私は、朝、5時30分か6時に起きて、そして、8時10分に家を出るが、その間、2時間ほどが健康法なんだ、真向法と称する健康法を中心に、40分の散歩を含めて2時間、面白半分でなくて、業としてやっている。私の散歩は、雨が降ろうが雪が降ろうが決めたことは必ずやる。そうして健康を練り上げている。

青年といえども、すぐに年が寄るよ、時が経つのは早い。いつまでも青年であるためには、それにふさわしい努力をしなければいけない。誰れでも健康になりたいと思うだろうが、健康になるために、どれだけの努力をしているか金持ちになるためには、貯金をしたり、株を買ったり努力をしているが、それ程の努力を、健康のためには、どれ丈尽しているか、それが私の健康投資論だ。

健康に対して投資しないで、健康であり得ないじやないかと言うのだ。だから、私は、若い人に期待をするとともに、若い人は身心を練る努力をしなけりやならないと思うな」



写真是 神戸青年会議所理事長・石野成明氏

從來の慈善活動的なものから一步進めて、地域社会なり、國家社会の改善計画を目指すべきでないか、社会の体質改善に努力した方がいいのではないか、と考えている

んです。また、先程、砂野社長が言はれたように、労使問題についても積極的に取組んで行きたい考えです」

砂野 「青年会議所もつまるところ、経済団体なんだ、だから、問題の焦点を日本の労使問題に向けて、日本の労使関係はどうあるべきか、と言うような問題について

若し、青年会議所が一致結束して、結論をださなければ、日本の産業に非常な貢献をするだろうナ……例え、どんな結論にしてもネ。それは、日本の青年経済人の決意な

んだと言ふ裏づけがなくては駄目だけね。それにこれは、私がいつも青年に贈る言葉なんだが、これはベリヤスと言う占領軍大尉が北海道の夕張にいたとき、現在の日経連の前田専務理事（当時、北海道夕張炭坑所長）に

言つた言葉なんだが、"Man will follow a leader, Who is strong and fair." 人々は、或いは従業員は、強くて公正なリーダーについて来るであろう。人々の指導者たるもの、公正で強くあれと。また、女性には、石丸五兵衛と言ふ思想家の言葉で、"女性よ永遠の母たれ、おん身は觀世音菩薩である" これも非常に感銘の深い言葉だよ。母の愛情ほど清らかで貴いものはないんだ。私の会社で今度、新らしく取締役として就任する人達に、仕事の上の指導者であるのは勿論だけど、リーダーとして不可欠なのは、熱情と愛情だと言つたんですよ。热情と愛情がなければ人々はついて来て呉れないんですね、強くて公正なことも必要だが、いくつも智慧があつても、热情と愛情を失いては指導者にはなれないのだよ。

だから、理事長となられたからには、こんなリーダーが育ちあがるように熱情を傾け、愛情をもつて指導されることが望ましい」

石野 「大変、すばらしい人生哲学をうかがって、新らしい、ファイトが湧きあがって来ました」

新春、趣味談義から

石野 「私の趣味といえば、麻雀なんですよ。それと、最近はあまりやりませんが、奇術もそうです。百崎さん

（ビオフェルミン社長）の弟子なんだけど、私が習い始めたのは、28才のとき、証券取引所の理事になつて、酒席などでいつもも指名されるものですから、百崎さんにお願いして教えていただいたんです。学生時代にはヨットをやつていまして、これは、学生選手権をとるぐらいやつたんですが、最近は遠のいています。ほかに閒碁は現在、3段の免状をもつてゐるんです」

砂野 「私はね。あれは、『海運文芸』に書いたと思うんだが、戦争中に想い出があるんだ、伊藤修二郎という防衛総司令官、中将だがね。その人が、『酒を飲んで、その後寝ては駄目だよ。脳細胞が開いてやつて年寄つてからボケル。私は飲んだ後は、帰つてから聖賢の書を読む。』

と言うんだナ。私は終戦後それを思い出して、私は飲んでから聖賢の書を読むと言うようを芸當は出来ないし、酒を飲んだら麻雀をして頭をしめるにした。麻雀は人生の姿そのものだと思うヨ、麻雀の理法を悟つてすべてに生かせばいいんだ。

先日、山田無文師がこられて、"味の素や塩のようにならないといけない。味の素も、塩もそれ自体味に変化はないが、他のものと交わることによって、千差万別の味を生みだす禅と言ふものもそんなもので、人生のなかに禅の悟りと言ふものが加われば世の中に千差万別の味わいが生れる" と言うことを話されたが面白いと思ったよ。人間もそのとおりだ。自分が交わることによって千差万別の味わいがそこに生れるようにならなければならぬ。

それでは禅の心は何か、無我だ、我執去つた人間ね。

そう言う人が一枚加わると總てのことが融ける。何事も、一生懸命やることだ、熱情をこめてやれば、自らそこに人と人の間が融けてくるものだ」（文責 小泉康夫）

経済ポケット

ジャーナル



活況おびる
神戸造船界

川崎重工業、新三菱重工

業造船所はこのところ向こ

う一年分の受注量をかかえ

空船台寸前までいった昨年

とはうつて変わった活況。

海運市況も十月下旬いらい

に向いており、殊に内航船

はかなりよさそう。おかげ

でミナト神戸の経済界も明

るい空気が流れ始めてい

る。一時は鳴りをひそめ、

ゴルフに押されていたマ-

ジヤンも盛んになる気配。

阪神間四十二社で構成して

いる小型鋼船輸送協議会会

長をしている扶桑海運社長

の永井庄治郎氏は「へたで

すよ」とは言ひながらも強

引な手で知られ、仲間の社

長連中とやるといつも一等

マージャン哲学を一席、十

二月十一日の総会でも同社

員が一等賞をさらい、神戸

の海運界では「扶桑海運は

社員までマージャンが強
い」と評判になつてゐる。
マージャンの盛んなことが
神戸経済の活況の証拠な
ら、マージャン大いに結構
ということになりそう。

64年度神戸青年会議所

新役員決まる

神戸青年会議所では次の

とおり新役員が決定した。

新理事長に石野成明（石野

証券社長）が就任。直前理

事長牛尾吉朗（ウシオ工業

社長）なお、副理事長には、

永田良一郎（永田良介商店

代表取締役）、東敬三（ケ

イ・エス・アヅマ商會社長）、

小田鉄造（三ツ星ベルト常

務取締役）、樽本久（樽本

木キ代表取締役）、定款木

下健（三富商店取締役）、

会員三好秀雄（三好医院々

長）、広報塙見昭一（福德長

酒造常務取締役）、涉外岩

島田文一郎（島文工業重役）

の十氏である。

きものブームニッケ
うーる御召」登場



ニッケのうーるお召

神戸銀行、ニューヨーク
に支店開設

創立二十七周年記念日に
当たる十二月十二日に神戸

銀行はニューヨークのマン
ハッタンに待望の海外支店

第一号を開店、全行員あげ

て日本の神戸銀行から世界

の銀行への飛躍を誓い合つ

た。開店披露はニューヨー

クの取り引きを招待、本

店から岡崎（忠）頭取、河

内外国部長も出席して盛大

に行なつた。

ニューヨーク支店は三十

三年に開設した駐在員事務

所を昇格させたもので、貿

易為替業務を中心に行なう。海

融などの業務を行なう。海

外支店開設について守田外

国部次長は「神戸銀行は多

くの銀行が合併して発展し
てきた銀行だけにこんどの

海外支店開設は画期的なこ

と。これからいよいよ国際

化が進む」と。これからいよいよ国際

化が進む

大張り切り。

同行はロンドンにも駐在

員事務所を設けて、英國や

EC諸国の経済、金融情

報を収集しており、今後の

国際的発展が期待される。

またミナト神戸もますます

世界各国との経済的なつな

がりが深まることになろう

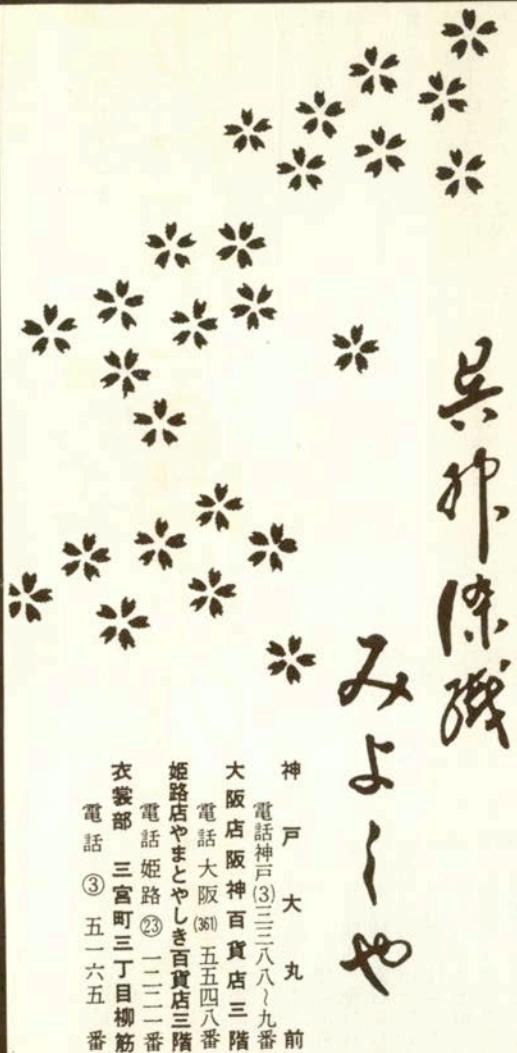
動雀部虎四郎（阪東調帶ゴ
ム經理部長）、國際関係福
田伊勢男（第一検査支配

人）、社会活動合田督（三
英物産代表取締役）、親睦

島田文一郎（島文工業重役）
の十氏である。

の十氏である。

来、東京、名古屋、大阪と
好評でした。セントスのいい
神戸の方々にも満足いただ
ける品です」と自信満々で
ある。



正賀 飯煎餅

■ クリームベリタス



(地方送り海外発送承ります)
●電話ご一報次第参上、商社マークせんべい

神戸三宮トア・ロード
本店③1番 2番 3番
南店③1 6 1 6 番

■ 神戸とエトランゼ

■

ゆたかな山荘の住人

H・S・ウイリアムス氏を訪ねて
陳 舜 臣



著書「ミカドの国」を書斎で見るウイリアム氏

頭の古い人は、いまだに須磨一谷で神戸が終っている
という観念をもつてゐる。しかし、実際には一谷の隘路
をすこしてから塩屋、垂水、舞子など神戸市のベッド・タ
ウンがひろがつてゐるのだ。

塩屋に英人ジエームスのひらいた有名なジエームス山
がある。静かな別荘地帯だったが、ここ数年来、山の周

囲に住宅が雨後の筍のよう建ちはじめた。ジエームス
山そのものは、ゆつたりと落着いているが、あたりにひ
びく宅地造成のブルドーザーの音は、太平の眠りをゆ
ぶるかにきこえる。

ジエームス山からは鉢伏、鉄拐山が裏がわから見え
る。そして、その山麓まで新しい家が建ちならんでいる。
眞

「まさに香港みたいに、山の上まで家が建ってしまいますよ」

ジェームス山のかつての管理者であり、いまもそこの大立物であるハロルド・S・ウイリアムス氏は、鉢伏山の裏を指して言つた。

大立物という言葉は、いろんな意味が含まれている。

在留外人のなかでも、氏はたしかに異色の存在であろうオーストラリヤ出身。四十三年まえ、メルボルン大学医学部の学生だったウイリアムス氏は、東洋にたいして青年らしい夢をもつていた。医学を学ぶかたわら、漢字を習い、東洋の文物について研究した。そして、大学三年のとき、観光団の一員として日本に遊ぶことになつた。ふつうの観光客ではない。はじめての土地だが、書物を通じて、なじみぶかい日本である。青年ウイリアムスは日本の風物に、渴いやすいく思つた。

滞在期間がすぎても、彼は帰国しなかつた。あと二年で医師の免状の待つメルボルン大学よりも、日本のもうエキゾチズムのほうが、はるかにつよい牽引力をもつていたのである。たまたま横浜のファインドレイ・リチャードソン商会が事務員を募集している広告をジャパン・アドバータイザー紙上で見て、なに気なく応募した。そして採用されたのが、氏にとって運命の岐路だつた。もし不採用だつたら、メルボルンに、ドクター・ウイリアムスが開業したことであろう。

在留外人は、たいていこちら生まれとか、商用で来日して居ついたケースが多い。しかし、ウイリアムス氏はそれとは反対に、日本に留るために職業をもつたのである。

以来、ずっと日本にいる。横浜に半年いて神戸に移りケーパー・フィンドレイ商会の支配人となる。ニュージランド出身のジョン夫人と結婚したのが二十八年前まえ。新婚旅行で世界を漫遊した。

不幸な戦争がおこり、氏は帰國して濠洲軍に投じる。しかし、終戦後数週後に、いちはやく濠洲軍少佐とし

て進駐。そして、再び実業家として日本に居ついた。現在はA・キャメロン商会の支配人である。

「この人、オーストラリアに大学の友だち三人しかいません。こちらには、友だちたくさんいます。これからずっとこちらにいるつもりです」

かたわらの夫人はそう言つて、あたたかい目をダンナさんにそそぐ。ジーン夫人は絵をよくし、音訳の日本名「寺院」とサインする。(なんだか抹香くさく、陽気な夫人にそぐわぬ名のような気がするが)

お見受けしたところ、ウイリアムス夫妻は対謙的な性格であるらしい。それだからこそ、仲がいいのかもしれない。夫人はにぎやかなのが好きで、テレビでも毎日曜日午後六時の「てなもんや三度笠」は欠かさず、五分前になると家事一切を放棄して、テレビの前に坐り、この「サムライ・コメディー」をごらんになるそうだ。

「けども、ダンナさんはオペラとオーケストラのほかなにもみません」

と夫人はおっしゃる。

サムライ・コメディーがはじまるとき、本をかかえて書斎にのがれるウイリアムス氏のすがたが目に見えるようだ。

ウイリアムス氏は学究肌の人である。日本における外国人、居留地などの歴史について非常にくわしい。それも素人の旦那芸ではない。権威ある三冊の著書がある。

Tales of Foreign Settlement in Japan
Shades of the Past or Indiscreet tales of Japan
Foreigners in mikadoland

本の題名では日本のことと「ミカドの国」とロマンチックに表現しているが、内容は精確な歴史である。

「研究に大切なのは資料です。まず資料を集めなければなりません」

小柄で温厚な氏の口調は、大学教授を思わせる。書斎でその膨大な資料を見せられたとき、まったくおどろいてしまった。日本在留外人関係の資料——ふるい



ジェームス山に2000坪の庭のあるウイリアムス氏邸 左より陳氏・ウイリアムス氏

新聞、写真、文書……とにかくよくも集めたものである。一八六〇年の東洋商業案内書もある。兵庫開港以前なので、コーベは出てこないが Yedo (江戸) Yokohama (横浜) Nagasaki (長崎) Deshima (出島)などの項目に、その貿易商のリストがならんでくる。

「この本は日本ではほかにないでしよう」

在留外国人死亡年月日、外人墓地埋葬者リストのたぐいから、戦前外人クラブ員が再度山に登つてサインしたノートを装幀して、FUTATABI BOOKとして保存しているのである。

「資料を集めただけではだめです。インデックス（索引）がなければ、資料は生きません」

大学で学問の方法論を拝聴していくような感じがした。なるほど、じつに克明な索引がつけられており、膨大な資料が一目瞭然、すぐに利用できるようになつてゐる。おそらく氏は生まれながらのロマンチストであると同時に、学究なのであろう。ものごとを寸毫もゆるがせにしない。

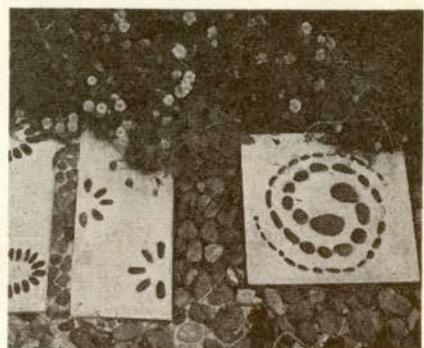
たとえば明治初年、横浜にあった Cobbs & Co. とう馬車会社の項には、その会社名の出てくる新聞記事から広告に至るまでそろつてゐる。しかもその会社が事件をおこし、オーストラリアで訴訟がおこなわれたが、その裁判記録まで写してある。徹底的な調査だ。

ウイリアムス氏は週に一度ほどしか出勤しない。余暇があれば夫婦で車を駆って下関や長崎へ行く。図書館巡りである。あと一週間すれば、香港へ行くとおつしやる。香港大学で資料をしらべるためだそうだ。

「横浜関係などで、日本にない資料が香港につたりしましてね」

そうした資料を確かめ、フィルムに収めるのだ。だから、氏の資料のなかには、たとえ一部なまの資料がなくとも、こうした写真がある。だから、網羅といえるのだ。氏の著書にはうつくしい挿絵やカットがはいっているが、それは寺院「ジーン」夫人の描いたものである。

ウイリアムス氏が自らデザインして作った岩みち

「寺院」とサインされた美人画の前で
ジェーン夫人

この道を氏は「岩みち」と呼ぶ。そして、石垣にはさまざまな貝殻がセメントではめこまれている。近海で集めたもの、九州で集めたもの、遠く濠洲から渡来したものなど、その種類何百かわからない。これらの「岩みち」や「貝殻をはめた石垣」は、すべてウイリアムス氏自身がコテを手にして造ったものだ。日曜大工ならぬ日曜左官である。

ひろい菜園もある。レタス、アスパラガスなど、ビニールの簡易温室もあり、野菜は買ったことがないそうだ。これらの野菜も、氏が栽培しているのである。

これで氏がたんなる書齋にこもった資料の虫でないことがわかるだろう。与えられた生活をフルにエンジョイする、ゆたかな人生技術のもち主なのだ。

瀬戸内海を見下ろす絶景を前にして、羨望にたえなかつた。

資料を集め、整理し、これを後の人びとに伝える。なんでもないようだが、人間の営みを記録するのは大切な仕事である。それにうちこむ氏の熱意は貴いものだ。同時に、そうした仕事が、自然の美を理解し、鳥や貝を愛し、ものをつくるためのしみを知る人の手によってなされていることに、大きな安堵をおぼえた。

「正確な事実が大切です。歴史にはぜったいフィクションを入れてはいけません」

ウイリアムス氏はそう言つたが、狭い視野しかもたぬ人の書いた歴史は、砂をかむような事実の羅列になってしまふだろう。空とぶ鳩に目を細めるような人にして、はじめて血の通つた記録が書けるのだ。

氏の著書はまだ拝読していないが、氏に接すると、読むまえから、すでにその著書にも信頼感をもつてしまつた。

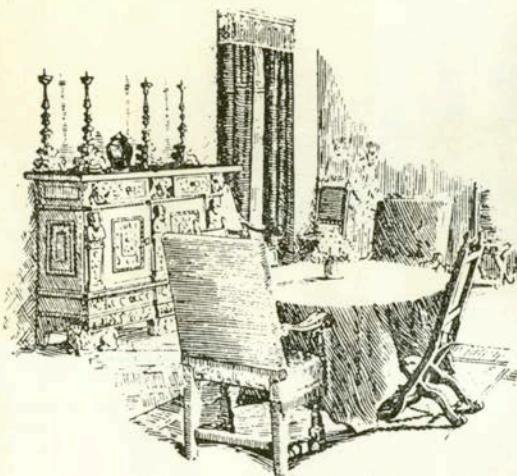
(作家)

性格はまるきり反対といつても、ダンナさんの仕事をよく理解し、協力を惜しまない賢夫人なのだ。さて、こうした面だけを紹介すれば、ウイリアムス氏を本と資料の虫と誤解する人もいるだろう。だが、そうではないのだ。

別面を紹介しよう。

ジェームズ山37号のウイリアムス邸は二千坪の庭をもつ。南にむかって斜面になつてゐるが、石畳の道がつくられて、その右に、黒い小石で月、星、太陽などの模様がはめられている。「鳩道」と漢字をあしらつた所もある。(鳩もたくさん飼つておられる)

家具・室内装飾・工芸品



頌 春

永田良介商店

大丸前 TEL {
⑨ 3 7 3 7
⑨ 3 7 3 9}

第三の美容



EYEGLASSES CREATE THE THIRD BEAUTY

ハイファッショն のめがね

神戸眼鏡院

元町3・電③3112-3・⑨1443
③ 0551 (貿易部)

〈神戸クーポン歓迎〉

謹賀新年



田崎真珠株式会社

本社 神戸市兵庫区旗塚通6丁目9 TEL(23)3321

六甲台工場 神戸市灘区六甲台町24 TEL(86)1445

神戸店
新聞金館秀品店内
銀座店
東京銀座(並木通り)
ヒルトン店
東京赤坂ヒルトンホテル内